

第2回北上川上流ダム再生 環境影響評価技術検討委員会

資料-6 説明資料 修正箇所一覧

No.	ページ		変更内容
	変更前	変更後	
1	P10	P10	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境影響評価の項目として「地形及び地質」を選定（表中の×を○に変更）。 ・ 上記の変更に合わせて、黄色箱書きコメントを訂正。
2	—	P12-2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「4. 調査の手法（3）地形及び地質」のページを追加。
3	P20	P20	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予測手法に「地形及び地質」を追加し、「直接改変（重要な地形・地質と改変区域の重ね合わせ）」を追記。

変更前

3. 環境影響評価の項目

- 大気環境、水環境、動物、植物、生態系、景観、人と自然の触れ合いの活動の場、廃棄物等を項目として選定する。
- 重要な地形・地質が事業実施区域周辺に分布していないため、**地形及び地質**は項目として**選定しない**。
- 事業実施区域周辺において放射線等の拡散・流出のおそれが無いため、**放射線の量**は項目として**選定しない**。
- 水質項目のうち、**旧松尾鉱山**に由来するヒ素が、貯水池に堆積している**地域特性を踏まえ、健康項目等として「ヒ素」を選定する**。

注) 表中凡例

○: ダム事業に係る参考項目であり、対象ダム事業においても環境影響評価項目として**設定した項目**

×: 参考項目であるが、事業特性、地域特性から環境影響評価項目として**設定しなかった項目**

◎: 参考項目以外であるが、**地域特性から環境影響評価項目として設定した項目**

北上川上流ダム再生事業における環境影響評価の項目(案)

環境要素の区分	影響の要素区分	工事の実施					土地又は工作物の存在及び供用								
		ダムの堤体の工事	原石の採取の工事	土工設備及び工事用道路の設置の工事	建設発生土の処理の工事	道路の付替の工事	ダムの堤体の存在	原石山の跡地の存在	道路の存在	建設発生土処理場の跡地の存在	貯水池の存在	ダムの供用及び			
大気環境	大気質	粉じん等													
	騒音														
	振動														
水環境	水質	土砂等による水の濁り													○
		水温													○
		富栄養化													○
		溶解酸素量													○
土壌に係る環境その他の環境	地形及び地質	重要な地形及び地質													◎
		健康項目等													◎
生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	動物	重要な種及び注目すべき生息地													○
	植物	重要な種及び群落													○
	生態系	地域を特徴づける生態系													○
人と自然との豊かな触れ合いの確保を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	景観	主要な眺望点及び景観資源、主要な眺望景観													○
	人と自然との触れ合いの活動の場	主要な人と自然との触れ合いの活動の場													○
環境への負荷の量により予測及び評価されるべき環境要素	廃棄物等	建設工事に伴う副産物													○
一般環境中の放射性物質について調査、予測及び評価されるべき環境要素	放射線の量	放射線の量													×

※第1回技術検討委員会で提示

変更後

3. 環境影響評価の項目

- 大気環境、水環境、地形及び地質、動物、植物、生態系、景観、人と自然の触れ合いの活動の場、廃棄物等を項目として選定する。
- 事業実施区域周辺において放射線等の拡散・流出のおそれが無いため、**放射線の量**は項目として**選定しない**。
- 水質項目のうち、**旧松尾鉱山**に由来するヒ素が、貯水池に堆積している**地域特性を踏まえ、健康項目等として「ヒ素」を選定する**。

注) 表中凡例

○: ダム事業に係る参考項目であり、対象ダム事業においても環境影響評価項目として**設定した項目**

×: 参考項目であるが、事業特性、地域特性から環境影響評価項目として**設定しなかった項目**

◎: 参考項目以外であるが、**地域特性から環境影響評価項目として設定した項目**

北上川上流ダム再生事業における環境影響評価の項目(案)

環境要素の区分	影響の要素区分	工事の実施					土地又は工作物の存在及び供用								
		ダムの堤体の工事	原石の採取の工事	土工設備及び工事用道路の設置の工事	建設発生土の処理の工事	道路の付替の工事	ダムの堤体の存在	原石山の跡地の存在	道路の存在	建設発生土処理場の跡地の存在	貯水池の存在	ダムの供用及び			
大気環境	大気質	粉じん等													
	騒音														
	振動														
水環境	水質	土砂等による水の濁り													○
		水温													○
		富栄養化													○
		溶解酸素量													○
土壌に係る環境その他の環境	地形及び地質	重要な地形及び地質													○
		健康項目等													◎
生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	動物	重要な種及び注目すべき生息地													○
	植物	重要な種及び群落													○
	生態系	地域を特徴づける生態系													○
人と自然との豊かな触れ合いの確保を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	景観	主要な眺望点及び景観資源、主要な眺望景観													○
	人と自然との触れ合いの活動の場	主要な人と自然との触れ合いの活動の場													○
環境への負荷の量により予測及び評価されるべき環境要素	廃棄物等	建設工事に伴う副産物													○
一般環境中の放射性物質について調査、予測及び評価されるべき環境要素	放射線の量	放射線の量													×

(該当ページなし)

4. 調査の手法 (3) 地形及び地質

- 調査地域は、**事業実施区域及び周辺の範囲**。
- 調査地点は、**調査地域内に分布している「姫神岳の岩塊流」**を設定。

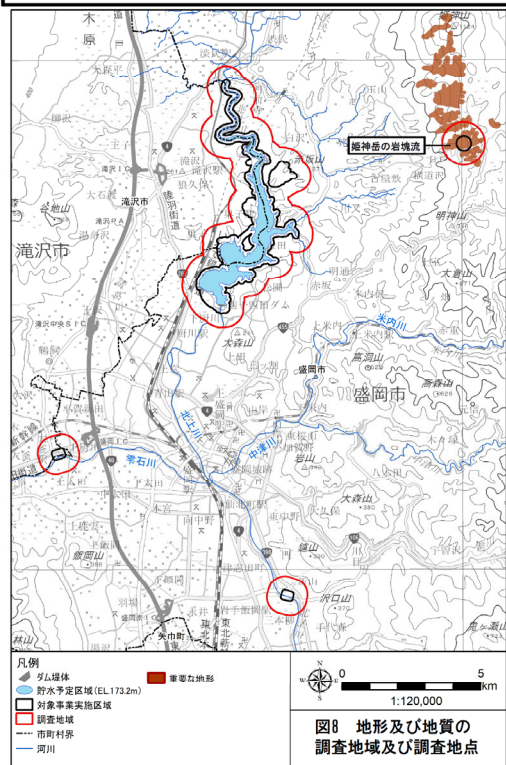
調査の手法（方法書記載概要）

項目	土壌に係る環境その他の環境(地形及び地質)
調査項目	・地形及び地質の概況 ・重要な地形及び地質の分布、状態及び特性
調査地域	対象事業実施区域及びその周辺(対象事業実施区域から+500mの範囲)の区域【図8】
調査地点	姫神岳の岩塊流
調査期間	・文献その他の資料及び専門家への聴取によるため特に限定しない

※地形及び地質の調査手法は、文献その他の資料及び専門家への聴取による情報の収集等とする。

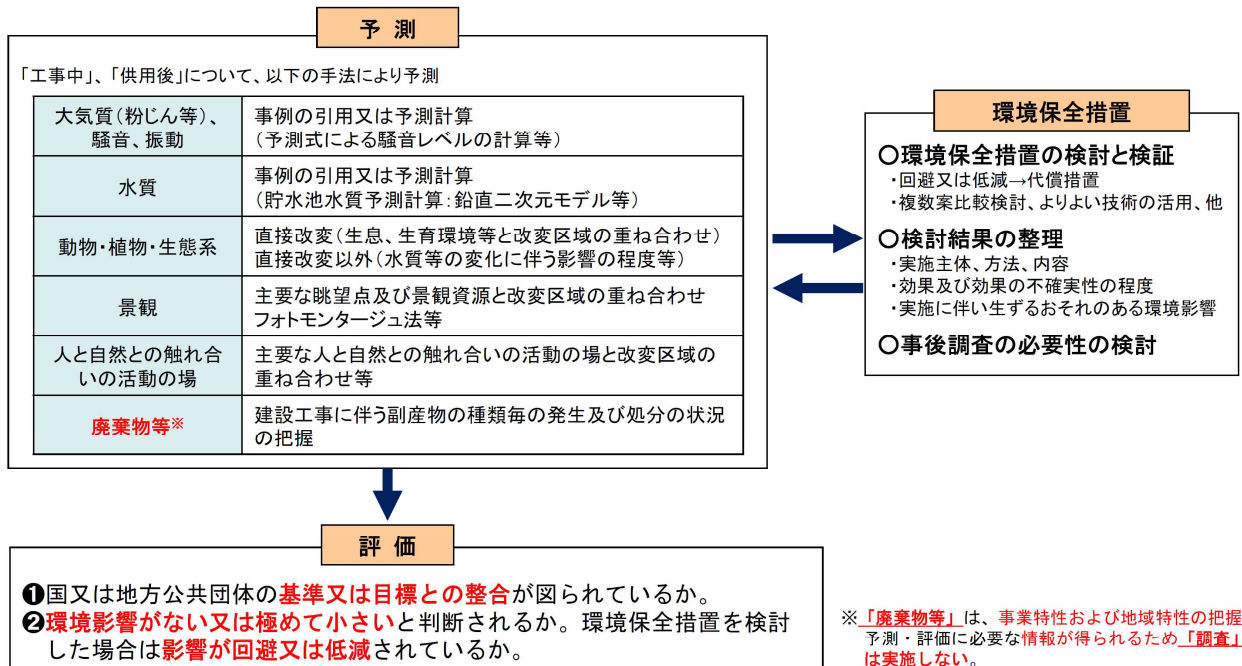
【調査地域の考え方】

事業による「直接改変等の影響を予測できる範囲」として、**事業実施区域から500mの範囲**を調査地域とした。



5. 予測及び評価の手法

- 類似事例も参考に「**予測モデルによる数値計算**」、「**保全対象と変更区域との重ね合わせ**」などから事業に伴う影響を予測。
- ①行政の**基準や目標の整合**、②事業による**影響の程度**、影響が大きい場合は**環境保全措置による効用**を評価。



5. 予測及び評価の手法

- 類似事例も参考に「**予測モデルによる数値計算**」、「**保全対象と変更区域との重ね合わせ**」などから事業に伴う影響を予測。
- ①行政の**基準や目標の整合**、②事業による**影響の程度**、影響が大きい場合は**環境保全措置による効用**を評価。

